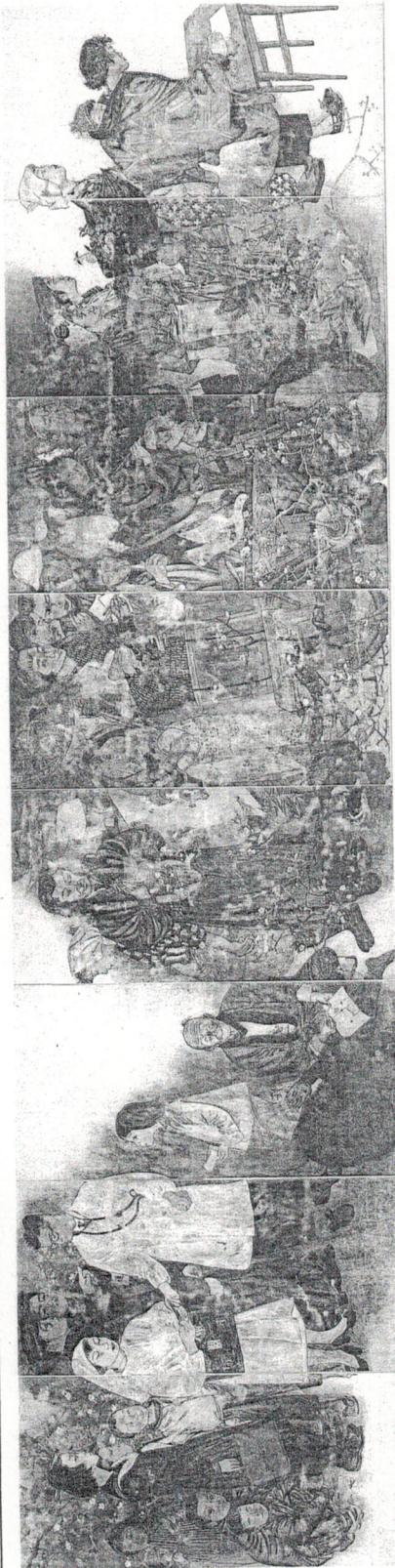


原水禁署名始まりの会

両親の志継ぐ「連帯の力知つて」



原水禁署名運動に発展したことを感じる人々を見た。たまに、原水禁署名運動を語りながら、核廃絶を求める原忌と署名の意義を知つてもらいたい」と思いを込める。木美術館は「原爆の図丸」(埼玉県東松山市)に常設展示を行つてほしい。今の終兵器廃絶につなげたい」と思ふ。

原水禁署名運動を推進した画廊の活動を語る竹内ひで子さん(東京都杉並区)、竹内藤子撮影

54年3月、米国の水爆実験でアグロ漁船・第五福竜丸の船員23人が被ばくし、アグロの汚染とともに連日ニュースで伝えられた。魚丸木佐重、丸木俊彦、955年、原爆の図丸美術館

1954年に起きた第五福竜丸事件を機に、「魚巣さん」から始まつた原水禁署名運動発祥の地・東京都杉並区で3月、画家の丸木位重・俊夫妻が共同制作した連作「原爆の図」の一つで原水禁署名を描いた「署名」が初めて墨書きされる。企画した区民の一人で署名を始めた鮮魚店夫婦の娘、竹内ひで子さん(78)は「一人一人が声を上げる連帯の力が社会を大きく動かすことを知つてもらいたい」と訴える。

竹内藤子

発祥の地・杉並娘ら展示

54年3月、米国の水爆実験でアグロ漁船・第五福竜丸の船員23人が被ばくし、アグロの汚染とともに連日ニュースで伝えられた。魚丸木佐重、丸木俊彦、955年、原爆の図丸美術館

が買われなくなり、杉並区で鮮魚店「魚巣」を営む菅原健一さんは「魚巣実験をやめさせて遠洋漁場を守ろう」と署名運動を提案。店主らが店先で署名を呼びかけ、女性たちが市場で大会を開き、政界に働きかけて、菅原健一は「魚巣さんだけでなく人間の問題だと手弁当で活動を始めた。杉並区では2ヵ月強で当時の人口の7割にあ

以降無料。9日午後6時半からは、終兵器廃絶国際キャンペーン(TCIN)の川崎哲さんによる講演する。問い合わせは事務局(070-6977-2247)。



たる27万人余が署名。活動は全国に広がつて300万を超える署名が集まり、55年8月には初の原水禁署名世界大会が開かれた。若いころに運動で体験した健一さんとトミ子さんの口癖は「困つている人は助けなければいけない」。9人の子供を育てる生活は裕福ではなかつたが、鮮魚店の奥にある自宅には、や病人が訪れ、章事や集会まで世話をした。当時は家族そっちのけで寂しさもあつたが、自らもう3人の子供を育てながら40年間、何動め先の損保会社で何事も理不尽を感じてきのたたかれて、毎業所に運動させらるるのたたかれて、ピラをまいりて抵抗したこともある。両親の呼び方かが、日本中の人の心を揺さぶり、大きな

↑↑

たる活動は全国に広がつて300万を超える署名が集まり、55年8月には初の原水禁署名世界大会が開かれた。若いころに運動で体験した健一さんとトミ子

さんの口癖は「困つている人は助けなければいけない」。9人の子供

を育てる生活は裕福ではなかつたが、鮮魚店の奥にある自宅には、や病人が訪れ、章事や集会まで世話をした。

当時は家族そっちのけで寂しさもあつたが、自らもう3人の子供

を育てながら40年間、何動め先の損保会社で何事も理不尽を感じてきて、毎業所に運動させらるるのたたかれて、ピラをまいりて抵抗したこともある。両親の呼び方かが、日本中の人の心を揺さぶり、大きな